

平成20年度 第61回九大祭について

(参考資料)

目次

(A) 第61回九大祭の運営に当たって	… P.2
(B) 九大祭概要・日程案	… P.3
(C) 実行委員会組織について	… P.4
① 九大祭におけるエコ対策	… P.5～6
② ステージ企画について	… P.7～8
③ 教室、テント企画について	… P.9
④ 九大祭当日の車両入構について	… P.10
⑤ 全体企画について	… P.11

(A) 第 61 回九大祭の運営にあたって

テーマ…“Final Pleasure 六本松”

私たちは、昨年度の第 60 回九大祭において公募により実行委員会として選出いただき、無事に第 60 回九大祭を成功させることができました。

第 61 回九大祭においても、昨年度の経験を活かし、学校全体にとって有意義な九大祭が実施できるように、全力を尽くしたいと考えております。

第 61 回九大祭を運営するにあたって、特に力を入れたいのは、以下の二点です。

① 学校からも学生からも信頼される、安定した運営組織の設立

昨年度から、学校の公募により実行委員会を選出する方法になった事は、今後も健全に九大祭を実施していくために大変有意義な事であったと考えます。

今年度の九大祭を運営するにあたり、学生に対し積極的にウェブサイトや掲示物などを通して情報公開を行い、私たちは新しい九大祭実行委員会であることをアピールしていくとともに、一人でも多くの学生に九大祭について知ってもらい、関わってもらうことで、学校全体で九大祭に対する意識を高めていく事が、今後とも九大祭を健全に実施していく上で必要不可欠であると考えます。

その為に、昨年の経験を活かし、学校全体から信頼してもらえるような運営団体を目指したいと考えています。

また、学生専門委員会に対しても活動内容や企画についての報告を定期的に行い、私たちの運営や企画に対し必要に応じてご意見を頂くなど、お互いに協力し合いながら九大祭を作り上げたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

② 六本松キャンパス最後の学園祭に相応しい、活気ある九大祭の実施

今年度は六本松キャンパスで行われる最後の学園祭となります。

そこで、今年のテーマを“Final Pleasure 六本松”とし、少しでも多くの学生や地域の方々に六本松キャンパスへ足を運んでいただき、六本松キャンパスとの別れに相応しい活気のある学園祭にできるような企画を実施し、学校全体での雰囲気作りに努めてゆきたいと考えております。

(B) 九大祭概要、日程案

- ・ 日程 11月20日(木)～24日(月・祝)

- ・ タイムスケジュール(草案)

○ 11/20(前日準備)

前日準備・プレオープン	9:00～20:00
後片付け、清掃	20:00～21:00
総下校、消灯	21:00

○ 11/21

清掃, 開園準備	8:00～ 9:00
公開時間	21:00
後片付け、清掃	20:00～21:00
総下校、消灯	9:00～20:00

○ 11/22

清掃、開園準備	8:00～ 9:00
公開時間	9:00～20:00
後片付け、清掃	21:00
総下校、消灯	20:00～21:00

○ 11/23

清掃、開園準備	8:00～ 9:00
公開時間	9:00～20:00
後片付け、清掃	21:00
総下校、消灯	20:00～21:00

○ 11/24(後片付け)

後片付け、清掃	8:00～12:00
グラウンド整地	12:00～(予定 後片付けの進度による)
大学当局確認	後片付け終了後

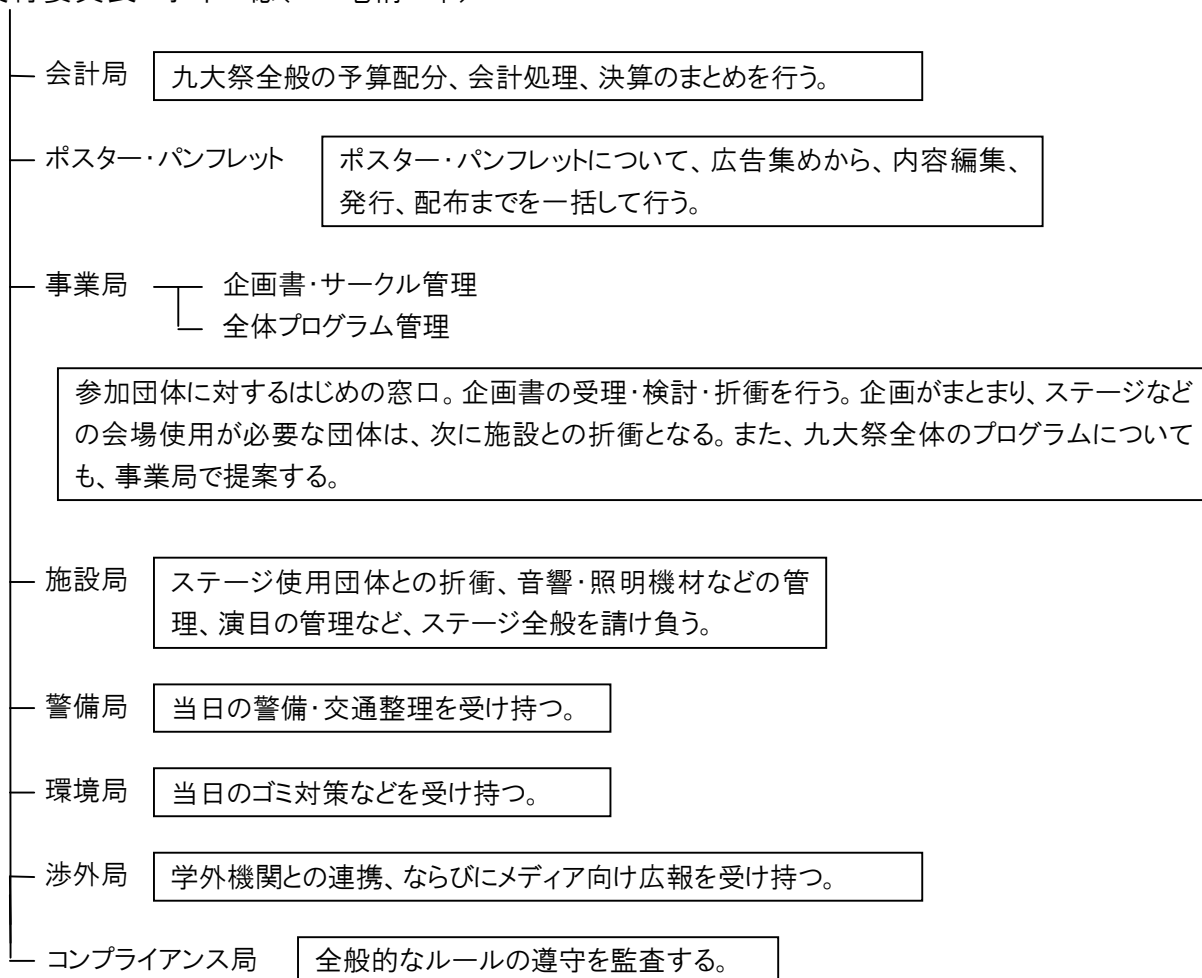
※ 大学当局の許可が出次第後片付け終了とする。

※ 許可が出ない場合、必要な部分の後片付け、清掃を再度行う

(C)実行委員会組織

○ 組織

実行委員長 水本 聡(工・電情3年)



なお、各部署は兼任が許される。

各部署には部署長を配置し、多数の人手が必要な部署に関しては参加団体、またはそれ以外の生徒から補佐を募り、人員を確保する。

①エコ対策

第61回九大祭では、第60回九大祭において大きな効果を挙げたゴミの分別、リサイクル容器の使用にさらに力を入れて取り組んでいきます。

リサイクル容器の使用

模擬店に対し、リサイクルを前提とした容器の使用を徹底させます。
これには、以下のような利点があります。

① 九大祭全体としてリサイクルに取り組むことで、九大祭にお客として来た方、模擬店や展示品を通して参加した学生等、九大祭に関わった人々に資源の再利用についての意識を持ってもらうことを目標としています。

② リサイクルを前提とした容器による、効率的な資源再利用を実現します。

具体的なリサイクル容器については、現時点では第60回九大祭と同じ「ホッかる」「バイオマスカップ」を想定しています。

■ ホッかる

容器の内側にあらかじめフィルムが張られており、簡単に内側のフィルムと外側の紙容器が分別できます。その上、分別した紙容器は、簡単に展開して1枚の紙に戻ります。リサイクルするために保管するにも運搬するにも小さなスペースで充分です。

フィルムは廃棄され、紙は再生紙へとリサイクルされます。フィルムは焼却してもダイオキシンなどの有害物質を発生しません。容器の種類も豊富で、様々な種類の模擬店に対応できることが今年の九大祭で実証されております。

■ バイオマスカップ

トウモロコシ等からできているプラスチックのリサイクル可能なカップで、何度リサイクルしても品質が劣化しない特徴があります。

ごみの分別の徹底

毎年大量のごみが排出される九大祭において、ゴミの減量や分別を徹底します。

・ 来場者用ゴミ箱における分別指導

来場者からでるごみの分別回収を徹底する為に、会場内に実行委員会の管理下でごみ回収BOXを設置します。この場所に、環境局のメンバーを配置してごみの分別ができているかどうかを監視します。

・ 集積所でのチェック

ごみ集積所では企画や模擬店によるごみを直接取り扱います。正しい分別がなされているかを確認し、不十分だった場合、その場で正しく分別しなおしてもらいます。自らの手で分別してもらうことで、企画や模擬店を行う学生の意識向上を図り、資源の再利用についても一考されるよう期待します。

「ひろえば街が好きになる運動」の実施

第60回九大祭では、公開時間中の清掃活動としてJTの「ひろえば街が好きになる運動」を実施しました。

この運動によって、参加団体だけでなく九大祭に来ていただいた幅広い方に清掃に参加していただき、多くの方に環境に対する意識を高めていただくとともに、本番当日に散乱するごみの量を大幅に減らし、きれいな会場を保つ事に成功しました。

本年度の九大祭でも引き続きこの活動を取り入れ、昨年以上の成果を挙げたいと考えております。

※ 参考 URL…<http://www.jti.co.jp/sstyle/manners/clean/index.html>

ゴミ分別に伴う予算変更について

前回の九大祭では協賛団体である環境サークル Ecoa の呼びかけによって、学外よりゴミの分別要員として15名程度のボランティアが参加し、九大祭における環境対策企画の成功に大きく貢献しました。

その際、第60回九大祭実行委員会からは金銭面で特別な対応は行いませんでしたが、ほかの学祭や環境対策イベントでボランティアを招く際には、スタッフTシャツや交通費などの経費を主催側が用意するのが一般的であるので、第61回九大祭では予算にこれらの必要経費を組み込むことを検討しています。具体的な項目は、以下の通りです。

■ スタッフTシャツ

来場者がゴミの分別に関する質問をする際、ゴミ分別のスタッフが一目でわかるようスタッフTシャツを用意して着用してもらいます。

・1000円×15人＝15000円程度

■ 交通費

遠方からの学生ボランティアの為に、交通費を準備します。

・1000円×5人＝15000円程度

■ 昼食代

実行委員会でボランティアの方々の為に昼食を用意したいと思います。

・500円×15人×3日＝45000円程度

計 ¥75000

②ステージ企画

九大祭におけるゲスト招待に対する考え

第 60 回九大祭では、ゲスト招待にかかる多額の予算の使い方を見直す目的で、ゲストの招待をとりやめました。

これは、予算の使い方を見直すという点では成功であったといえる反面、九大祭終了後に参加団体に対して行ったアンケートの結果では、「芸能人・ゲストを九大祭に招待してほしい」という意見が全体の 8 割以上を占めており、学生の意見を無視してしまった点が課題として残りました。

私たちとしては、ゲスト招待に対して、以下のような利点、欠点があると考えます。

□ 利点

- ・ 学園祭という「お祭り」において、人気のあるゲストを招待することで九大祭がより盛り上がるのはもちろんの事、九大祭に有名人が招待されることが学生の九大祭に対する意識向上につながり、九大祭全体の質の向上が期待できる。
- ・ ゲストを招待する事により、学生だけでなく学外からの九大祭に対する関心も高まり、集客数の増加が見込める。特に今年のテーマは「Final Pleasure 六本松」であり六本松キャンパス最後の九大祭であるため、たくさんの方に六本松キャンパスに足を運んでいただきたい。さらに、来年度以降の九大祭はアクセスが不便な伊都キャンパスでの開催となる為、その際の来客数の減少を最小限に抑える為にもゲスト招待は有効な策と考えられる。
- ・ 一般的な大学での学園祭において、ゲストを招待する事は一つの大きなステータスとなっており、有名人をゲストとして招待することが「九大祭(または九州大学)」に対する学内、学外からの期待に応える事につながる(この為、昨年度の九大祭において、学内、学外を問わず「今年はゲストを呼ばないのか」という問い合わせが殺到した)

□ 欠点

- ・ 予算の使い方として、ゲストに対し大幅な金額を使うことは適切でない。
- ・ 六本松キャンパスに有名なゲストを招待した際、多客に伴う混乱が考えられる
- ・ 幅広い年齢層に受け入れられるゲスト探しが難しい

そこで、今年度のゲスト招待に関しては、

- ・ 各団体の「参加費」をゲスト招待用に一万円前後値上げする事で、ゲスト招待にかかる費用を全て学生から徴収する
- ・ 多客対応の為、各団体から「ゲスト委員(仮称)」を 2 名程度集め、ゲストによるイベントの際には万全な多客対策を行う
- ・

以上二点をゲスト招待の最低条件とし、この条件のもとでゲストを招待したいかどうか、また招待する場合にはどのようなゲストがよいかを学生に対しアンケートで問いかけ、その結果に応じてゲストを招待するかどうかを最終決定する予定です。

ステージ演奏における騒音対策について

第 61 回九大祭実行委員会では、以下のような騒音対策を考えております。

■ 第 2 ステージの移動

これまでのステージ配置を再考し、今までバンド演奏を行っていた第 2 ステージの位置を変更する事で、少しでも周辺地域への騒音が減らせるようにします。

■ ポスターによる周知

昨年度の九大祭では、騒音が激しいと思われる地域にお住まいの方々に対し、書面や直接のご挨拶を通じてご理解とご協力をお願いしてきました。

今年度もこれを続けると共に、「そもそも九大祭が行われている事を知らなかった為、騒音の理由が分からず不快に感じていた」という声を多数頂きましたので、六本松キャンパスのフェンスに九大祭ポスターと騒音に対するお詫びを張る事により、近隣住民の方々に九大祭の事を知っていただき、少しでも苦情を減らすことができるようにします。

■ 大型機材による防音対策の検討

高額ではありますが、以下のような機材の導入も検討しております。

トラスステージ



20mテント



マルチテント



名称	サイズ	金額	業者	業者所在
防音ブース	2 帖	¥726,000	有限会社 グローバルステージ	大阪
トラスステージテント	3K × 5K	¥378,000	レントオール博多 唐人町	福岡
20mテント	20m × 20m	¥840,000	レントオールつくば	筑波
マルチテント	10m × 5m	¥115,500	レントオールつくば	筑波

上記のうち、福岡以外の店舗の商品は実行委員会承認ののち福岡の業者に問い合わせることで調達の可否を検討します。

現在、ステージ 2 基は建築資材を流用して組み上げています。(2 基約 17 万円)

上記の物品の対応する正規の野外ステージは1基約 30～40 万円かかるようです。

よって以上の機材を導入した場合は、ステージ経費は前年度の 16 万 8 千円から、100 万円程度まで増額になります。

③教室・テント企画

九大祭ではステージ企画のほかに教室内で展示やライブなどを行う教室企画、グラウンドに多数のテントをたてて内で飲食店を営業したりゲームを行ったりするテント企画を実施します。どちらも例年多数の学生が参加し、九大祭を盛り上げるための大きな役割を担ってきました。

衛生対策

テント企画では、多数の模擬店が出店され、飲食物の販売を行います。

そのため、福岡市保健所に協力をお願いし、保健所から衛生対策についての指導を行っていただくことで、各団体が衛生対策についての知識を十分なものとして、飲食物販売による食中毒などの事故が起こることのないようにします。

火事対策

テント企画では多数の模擬店が出店されますが、殆どの団体がその調理の際に火を扱います。その為、実行委員で定期的に見回りを行う他、万が一に備え実行委員側でも消火器等を準備し、また実行委員用の非常時マニュアルも準備して非常時に備えます。

飲酒対策

テント企画の一部では酒類の販売も行いますが、以下の点に十分留意するよう実行委員から指導を行います。

- ・ 飲酒運転のないこと。各団体はお酒を売る前に、飲酒する者が運転する予定がないことを必ず確認するよう徹底する。
- ・ 未成年への酒類販売が無い事。
- ・ 飲酒したもの同士でのトラブルが無い事。団体側でも十分留意するよう指示する他、実行委員側でも見回りを実施し万が一に備える。

昨年度の九大祭では「飲酒手形」制度を実施し、上記の問題の防止に大きな効果をあげることができました。この制度は本年度も実施します。

■ 飲酒企画の制限について

本年度の九大祭では従来のテント企画から酒類取り扱い団体を切り離して「酒類企画(仮称)」とし、募集の段階から通常テント企画と酒類企画を分離します。

酒類団体の数は上限を 15～20 程度とし、上限を超える応募があった場合は面接を行います。これにより、単にマナーの守られていない酒類取り扱い団体を減らすだけでなく、酒類を扱う事に対する意識を早い段階から向上していく事を目標としています。

④九大祭当日の車両入構について

第 61 回九大祭においては、昨年度の経験から、車両の入構は最低限のみ認めるべきであると考えます。その理由は、以下の通りです。

- ・ **グラウンドへの資材搬入が困難である**
グラウンド内へはテントやステージ機材など、数々の資材を搬入する必要があり、万が一車両入構を全面的に禁止するとステージや本部テントの設営など、九大祭全体の運営に大きな影響が出ます。また、資材の積み下ろしの為に門付近に長時間駐停車する車が多数発生する事も想定されます。
- ・ **周辺道路への違法駐車が増加する**
万が一車両入構を全面禁止すると、資材の搬入等の為に、周辺道路への違法駐車が大幅に増加すると考えられます。六本松キャンパス周辺に大規模な駐車場が無い事から、この違法駐車を全て取り締まる為には六本松周辺を広く巡廻し取り締まる必要があり、九大祭実行委員会だけでこのような取締りを行うことは不可能です。

車両入構の条件

そこで、第 61 回九大祭では最低限の車両入構を認めるかわりに、以下のような対策を行い、事故・トラブルの防止に努めます。

■ 車両入構申請の徹底

従来どおり、九大祭当日に車両を入構する団体には入構許可証の発行を行い、この許可証のある車両のみ入構を許可します。

この申請の際、以下の点にドライバーが同意する事を許可証発行の条件とします。

- ・ 六本松キャンパス内に駐車しない事
- ・ ドライバーは絶対に飲酒しない事
- ・ 六本松キャンパス内では実行委員会で指定したルートのみを通行する事
- ・ 六本松キャンパス内では実行委員会で設定した最高速度を遵守すること

■ 交通整理委員による誘導の徹底

あらかじめ実行委員会側で車両が通行できるルートを指定すると共に、交通整理委員を配置し指定されたルートのみを車両が通行するように誘導すると共に、構内の車・歩行者の両方に対して適切な指示を出し、事故防止に努めます。

⑤全体企画

実行委員会では、他にも以下のような企画を実施する予定です。

お料理コンテスト

九大祭のテント企画の中で、どの団体の料理が最もおいしいかを競う企画です。ステージ上で審査員に実際に試食してもらい、一位となった団体には景品を進呈します。

投票制度

事前に来場者に投票用紙を配り、その得票の多かった団体に対して表彰や景品の進呈を行います。

スタンプラリー

グラウンドだけでなく、もっと多くの方に教室内にも足を踏み入れてもらう為にスタンプラリーを行い、教室企画の充実をはかります。

本部テントの機能充実

第60回九大祭からグラウンド内に本部テントを配置しました。

第61回九大祭ではこの本部テントの人員を増やし、インフォメーションとしての機能を充実させ、九大祭の企画に関する問い合わせは勿論の事、帰りの交通機関の問い合わせや受験生への簡単な学校説明などにも対応できる多機能な本部テントを目指します。

ホームカミングデイの共催

九大祭と同じ日にホームカミングデイを共催する事で、双方の来場者数を増加させると共に、異なる世代の九大生同士が交流できる場をつくれます。

この他にも、学生から企画の提案があった場合は積極的に取り入れていきます。